



飛騨っ子

令和2年5月25日発行 NO3

飛騨県事務所 振興防災課 振興防災係

家庭教育推進専門職：水口 悟

TEL: 0577-33-1111 (内線 235)

E-mail: mizuguchi-satoru@pref.gifu.lg.jp

自分でできることを増やす家庭教育

今年度は 特に「在宅取組型」家庭教育学級が お勧めです！

Q 今年度は、コロナ感染症予防が継続される中で、例年PTA主催のもとに取り組んできた「親子のふれあい活動」「講師を招いて講話を聞く」という形の家庭教育学級は、実施が難しい…。各家庭で実践できる(在宅取組型)の家庭教育学級を中心として進めたいのですが、何かよい方法はありますか？

先日、お電話(Q)をいただきました。ありがとうございました。子どもたちが元気に園・学校生活をスタートさせることを願うばかりです。子どもたちの元気を支える基盤は、家庭です。

・バランス(連携)

緊急事態宣言が解除をされましたが、子どもたちの日常生活や園・学校生活すべてが戻るには、時間がかかりそうです。このような状況の中、子どもたちの成長に向け、特に家庭と園・学校はどうバランス(連携)をとっていくことが望ましいのか、大変悩みます。しかし、機会をとらえ、関係者(諸機関)が積極的に話題としていくこと自体が、大切なのだと思います。

・目標と笑顔

大人でもストレスの大きい状況です。叱られたり追い込まれたりするばかりでは、子どもたちは大変です。園や学校との連携の中で、子どもたちの目標を大切に家族みんなで前向きに応援することが一番です。わが子が、目標に向かい主体的に歩む姿を応援し続けましょう。

・保護者主体の保護者会・PTA活動

今年度、やる気満々で挑んだ役員の皆様、是非とも、各園・学校や地域の特色を活かした在宅取組型家庭教育学級に挑戦してみましょう。在宅取組型といっても、きっと真新しいことではなく、普段各家庭で行ったり保護者会やPTAの年間活動で取り組んできたりしたものがあるのではないのでしょうか。無理なく楽しくが一番です。



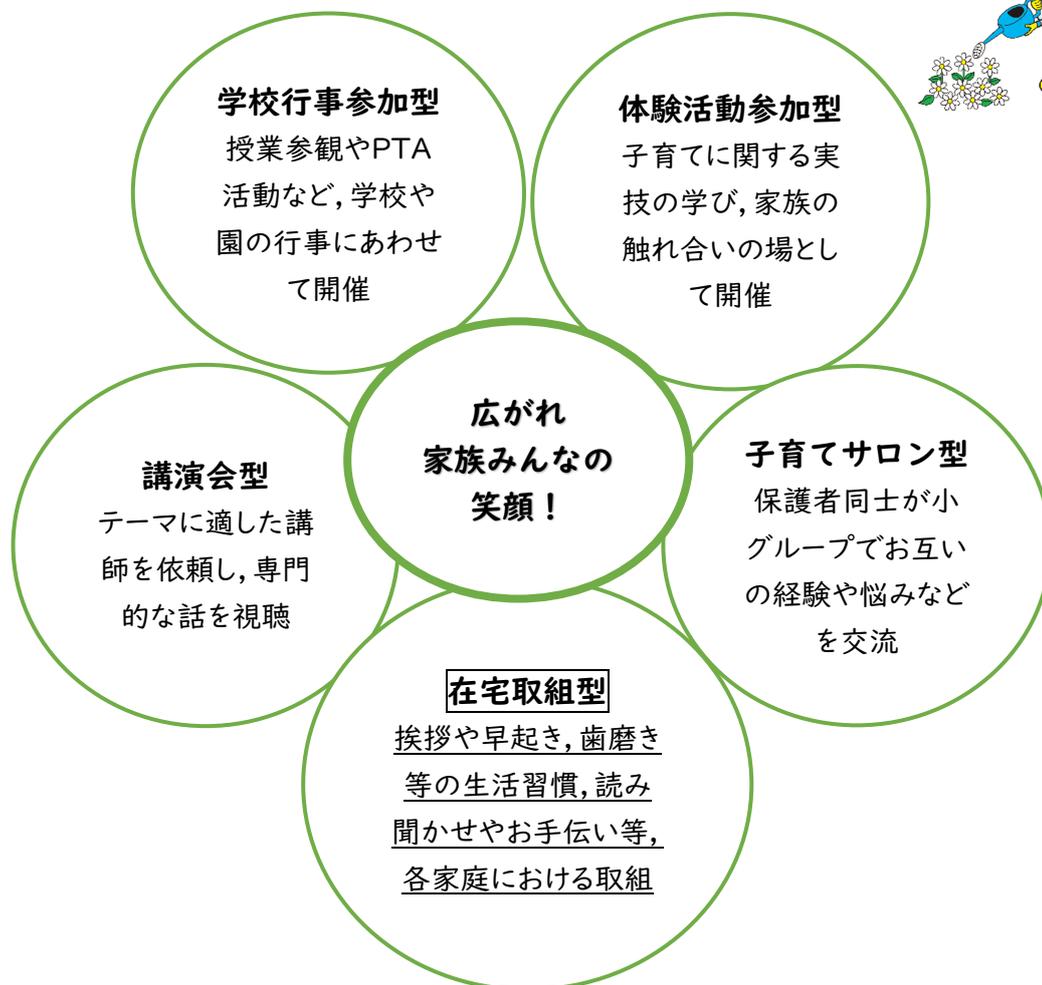
・見える化と発信

在宅取組型家庭教育学級を進める上で、カード等を活用し目標や取組内容を‘見える化’することが有効です。また、取組の様子を交流・発信(通信等)し広めることも大切です。園や学校のみならず、広報誌やまち協だより等で紹介していただくことも、「家庭教育を地域全体で応援する社会的気運の醸成」につながります。

・紹介1

岐阜県(環境生活政策課)では、家庭教育学級の進め方として次の5つの形態を提案しています。例年、各園(保護者会)や学校(PTA)が、それぞれの実態やニーズに合わせ、いろいろなバリエーションで取り組んでいます。

<家庭教育学級の形態>



・紹介2

保存版 みんなで子育て(家庭教育学級運営マニュアル 改訂版)が、H30年度の家庭教育リーダー研修会にて、各学校・園等に配布されています。今一度、手に取り開いてみましょう!

・P7

【在宅取組型運営のポイント】

・P40~

資料2 活動事例紹介

*県内の在宅取組型の実践が、紹介されています。



検索 岐阜県 家庭教育学級

R元年度の飛騨地区の実践(在宅取組型)がUPされています! 是非とも、参考に!!

・飛騨市立旭保育園, 高山市立本郷・枋尾保育園, 高山市立荘川小学校, 下呂市立竹原中学校